

札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

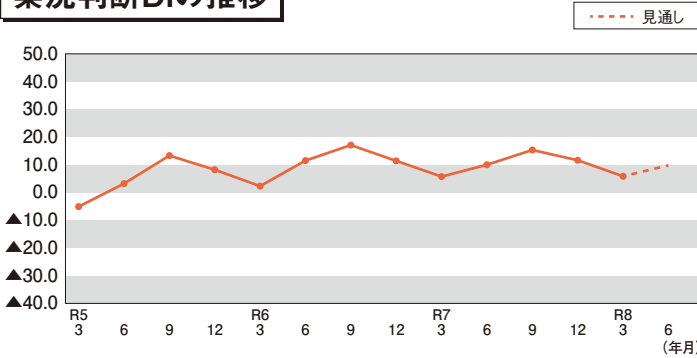
調査の概要

- 調査時期：令和8年3月2日～6日
 - 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
 - 対象企業数：当金庫のお取引先340社
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
 - 分析方法：DIを中心とした分析。
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
 - その他：「中小企業経営者のライフデザイン」
- ※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

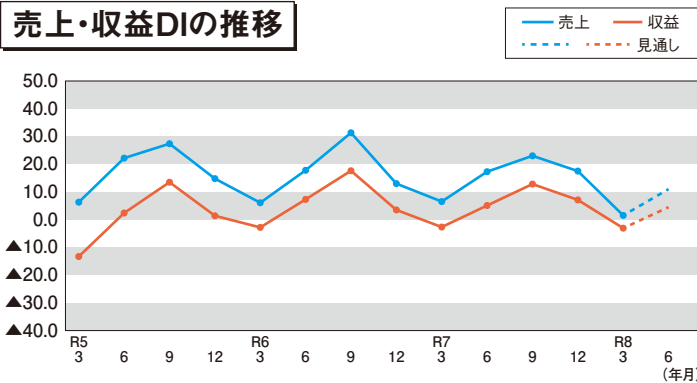
業況判断DIの推移



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は5.7と前期から5.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.1ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



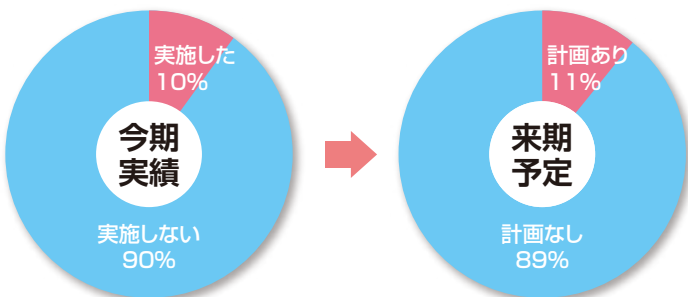
○売上DI～低下↓

- ・今期は1.4と前期から16.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.6ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲3.2と前期から10.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.7ポイント上昇する見通し。

設備投資動向

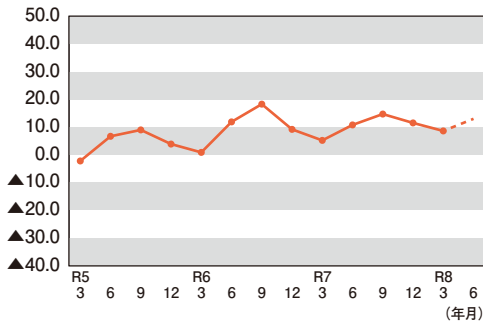


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
人手不足	34.1	32.6
原材料高	26.8	27.4
売上の停滞・減少	25.3	23.2

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	53.2	55.6
人材を確保する	34.7	31.8
販路を広げる	29.7	32.6

札幌圏

業況判断DIの推移



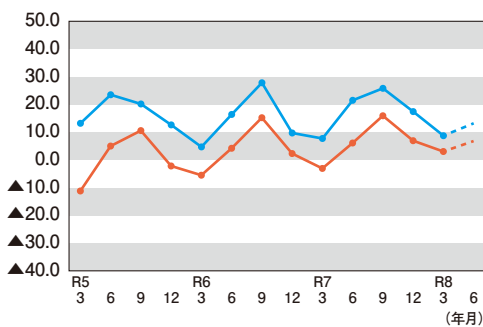
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は8.5と前期から2.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.5ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



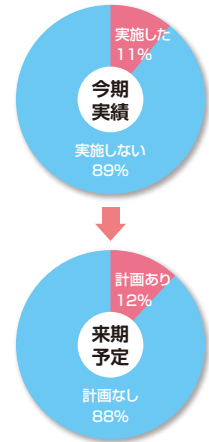
○売上DI～低下↓

- ・今期は8.6と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.6ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は2.9と前期から3.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.9ポイント上昇する見通し。

設備投資動向



(%)

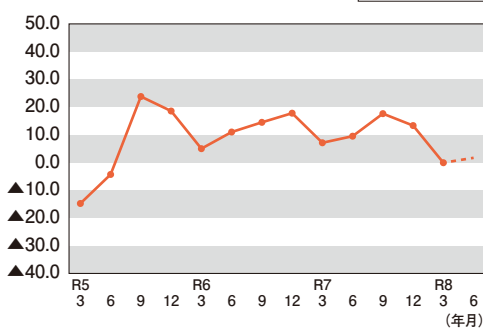
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	32.3	30.2
売上の停滞・減少	25.5	26.4
原材料高	25.1	26.0

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	53.2	56.2
人材を確保する	32.3	28.1
販路を広げる	29.8	33.6

後志圏

業況判断DIの推移



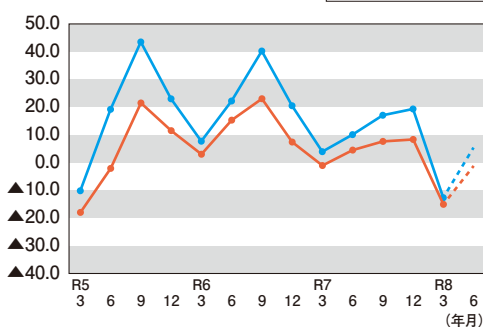
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲0.2と前期から13.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から1.9ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



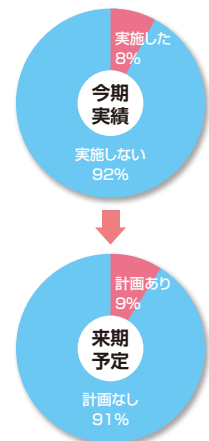
○売上DI～低下↓

- ・今期は▲12.8と前期から32.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から18.2ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲15.2と前期から23.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.0ポイント上昇する見通し。

設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	38.1	38.1
原材料高	30.5	30.5
売上の停滞・減少	24.8	16.2

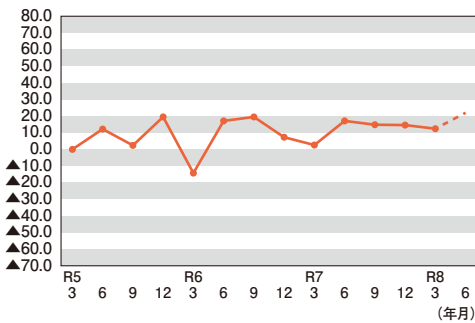
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	53.3	54.3
人材を確保する	40.0	40.0
販路を広げる	29.5	30.5

製造業

札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

業況判断DIの推移

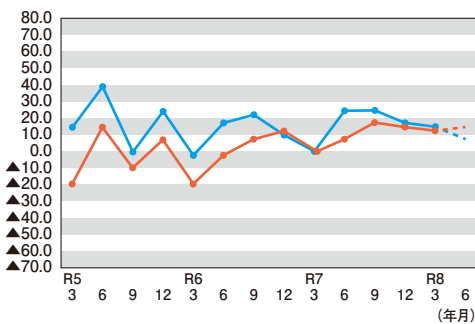


コメント

○業況判断DI～低下↓

- ・今期は12.2と前期から2.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.8ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下↓

- ・今期は14.6と前期から2.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は12.2と前期から2.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から2.4ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・ハムソーセージ

原材料や物価高騰により、利益確保が難しい状況。商品の値上げについても消費者の購買マインドの低下が予想されるため、なかなか踏み出せない。

・印刷物全般

原材料の高騰が相次いでおり、販売価格の転嫁が追い付いておらず、利益確保が課題となっている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	51.2
人手不足	34.1
利幅の縮小	24.4

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	70.7
人材を確保する	43.9
販路を広げる	39.0

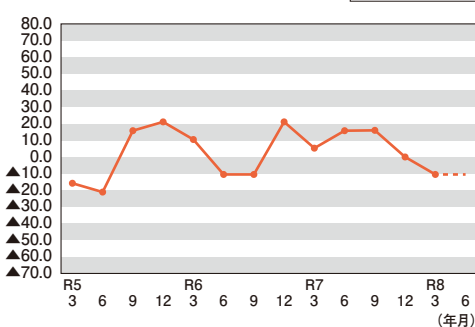
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	4.9
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	14.6

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

業況判断DIの推移

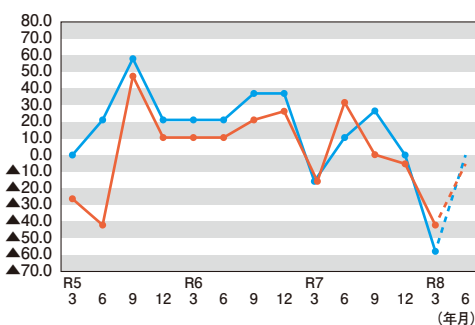


コメント

○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲10.5と前期から10.5ポイント低下した。
- ・来期は▲10.5と横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント

○売上DI～低下↓

- ・今期は▲57.9と前期から57.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から57.9ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲42.1と前期から36.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から36.8ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・小女子加工品

地域において不漁が続いており、小女子やその他水産物の水揚げが減少している。仕入価格の高騰分を価格転嫁できておらず、利益が減少している状況。

・パン・コーヒー製造販売

ドライブインの来店客数が対前年比でやや減少。特に外国人の観光客が減少傾向となっている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	73.7
売上の停滞・減少	31.6
人手不足	31.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	68.4
販路を広げる	42.1
人材を確保する	26.3

設備投資動向(%)

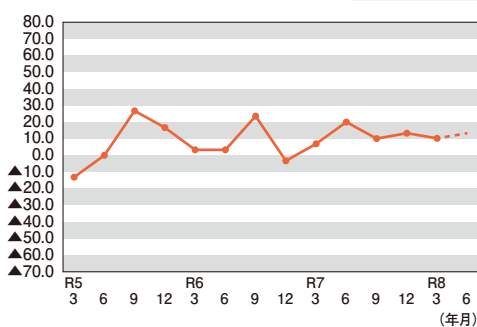
今期設備投資を実施した	10.5
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

卸売業

札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

業況判断DIの推移



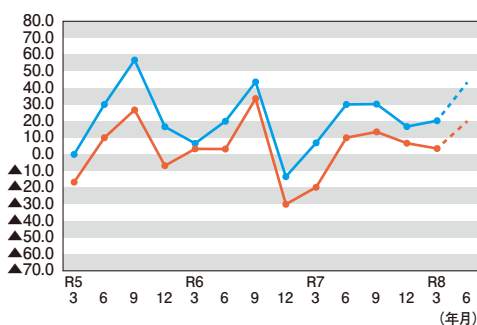
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は10.0と前期から3.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.3ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は20.0と前期から3.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から23.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は3.3と前期から3.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.7ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

- ・水産物
仕入コストの上昇分を価格転嫁できず、利益幅が減少している。
- ・建築資材販売
資材高騰の影響で利幅圧縮傾向にあり、今後の価格動向に懸念がある。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	40.0
人件費の増加	40.0
人手不足	33.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	63.3
販路を広げる	53.3
人材を確保する	33.3

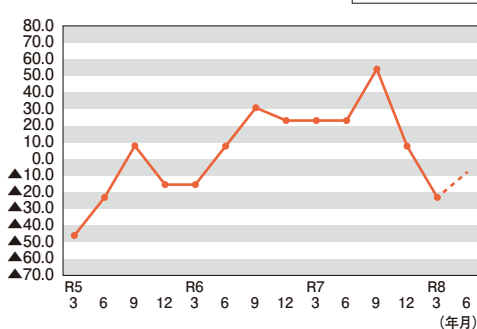
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	13.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

業況判断DIの推移



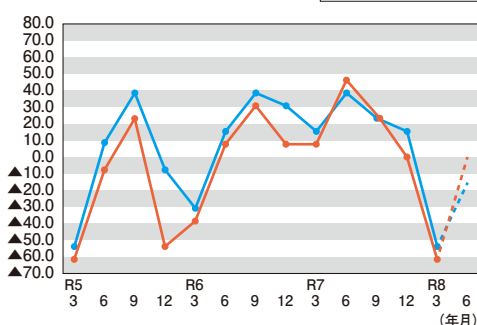
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲23.1と前期から30.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲53.8と前期から69.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から38.4ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲61.5と前期から61.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から61.5ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

- ・梱包資材卸売業
水産物用の梱包資材が中国の禁輸問題から停滞し、業況低迷が続いており先行きが不透明である。
- ・食肉
輸入品を中心に仕入価格の高騰が続いており、販売価格に転嫁しきれていない状況。収益もやや低下しており、今後更なる販売価格の引上げを検討せざるを得ない。

経営上の問題点(複数回答)(%)

利幅の縮小	46.2
人手不足	30.8
仕入先からの値上げ要請	30.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	61.5
販路を広げる	53.8
人材を確保する	38.5

設備投資動向(%)

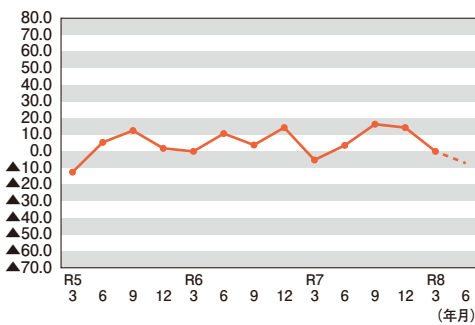
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

小売業

札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

業況判断DIの推移



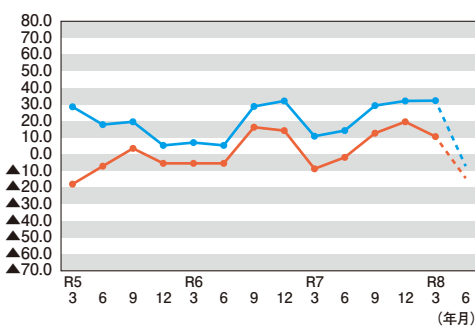
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から14.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.1ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～横ばい→

- ・今期は32.1と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から39.2ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は10.7と前期から8.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から25.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・生花

冠婚葬祭等の注文は連日入っているが、仕入価格の高騰により苦しい状況が続いている。配達の際の燃料費高騰も痛手となっている。

・衣服小売

売上は前年と同程度に推移するも、仕入原価上昇によって利益は減少となった。収益性の低い店を閉店させることで経費削減を図っていく方針。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	30.4
人手不足	26.8
利幅の縮小	23.2

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.7
売れ筋商品を取扱う	25.0
人材を確保する	23.2

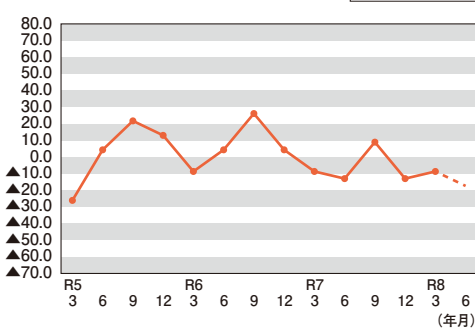
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	12.5
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.9

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



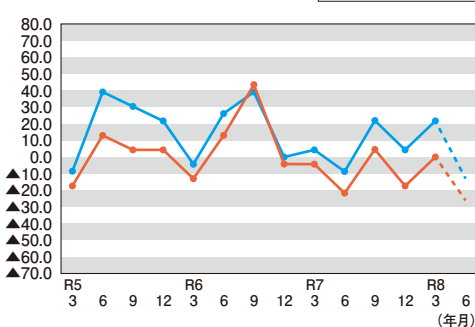
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は▲8.7と前期から4.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から8.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は21.7と前期から17.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から34.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は0.0と前期から17.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から26.1ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・飲食料品

12～3月頃までは外国人スキー客増加により、売上増加傾向である。

・コンビニエンスストア

来客数に大きな変化はないが商品値上げもあり売上は増加傾向。今後も順調な推移が見込まれる。

経営上の問題点(複数回答)(%)

商圏人口の減少	47.8
大型店との競争激化	30.4
売上の停滞・減少	26.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.9
売れ筋商品を取扱う	26.1
人材を確保する	26.1

設備投資動向(%)

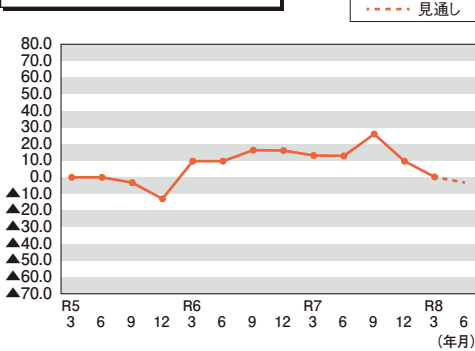
今期設備投資を実施した	4.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	4.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

サービス業

札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

業況判断DIの推移



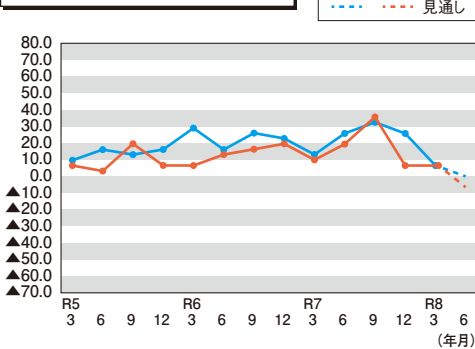
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から9.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.2ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は6.5と前期から19.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から6.5ポイント低下する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は6.5と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から13.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・食堂の運営

材料費や人件費の高騰分をようやく販売価格に転嫁し始めているが、増額分すべてを転嫁できる状況には至っていない。やや低調推移が続く見通し。

・自動車整備

依然として人手不足で人材の確保が大きな課題となっている。材料価格の上昇により、資金繰りも厳しい状況。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人件費の増加	45.2
売上の停滞・減少	35.5
人手不足	35.5

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	48.4
販路を広げる	32.3
人材を確保する	32.3

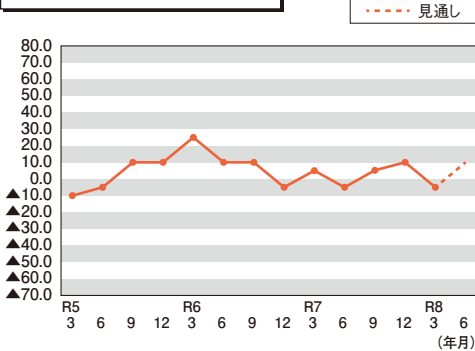
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	9.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	9.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



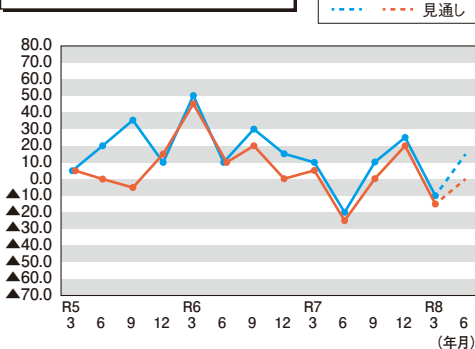
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲5.0と前期から15.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.0ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲10.0と前期から35.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から25.0ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲15.0と前期から35.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・寿司店

原材料、光熱費が高騰している中、町の人口減少もあり利益は減少傾向である。

・自動車修理・板金業

地域人口の減少、世帯数の減少により車輦台数の減少が目立っている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	50.0
売上の停滞・減少	40.0
商圏人口の減少	35.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.0
販路を広げる	40.0
宣伝・広告を強化する	35.0

設備投資動向(%)

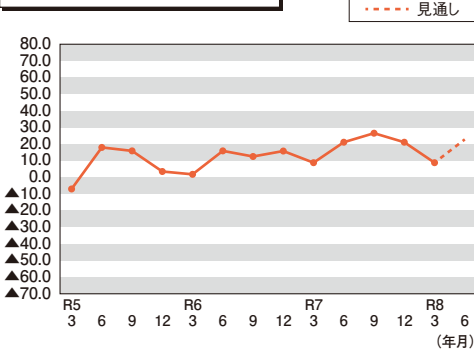
今期設備投資を実施した	5.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

建設業

札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

業況判断DIの推移



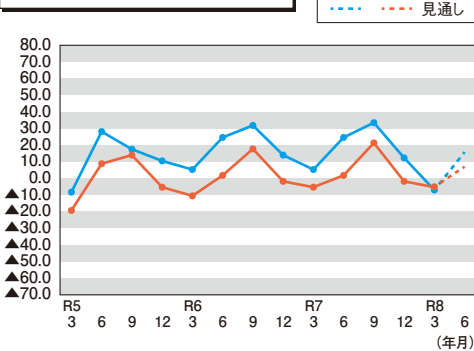
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は8.8と前期から12.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.0ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲7.0と前期から19.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から22.8ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲5.3と前期から3.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から12.3ポイント上昇する。

企業のコメント

・建築工事業

新築戸数の減少、材料費の高騰等により厳しい経営環境が続いている。

・土木工事

物価高の影響もあり、経費等が増加している状況である。人手不足も続いており、工事受注を制限したりしている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	49.1
人手不足	45.6
人件費の増加	22.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	42.1
人材を確保する	40.4
販路を広げる	29.8

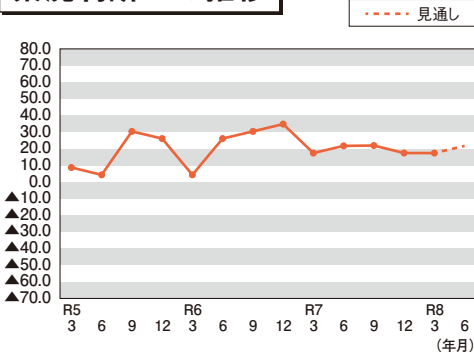
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	12.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



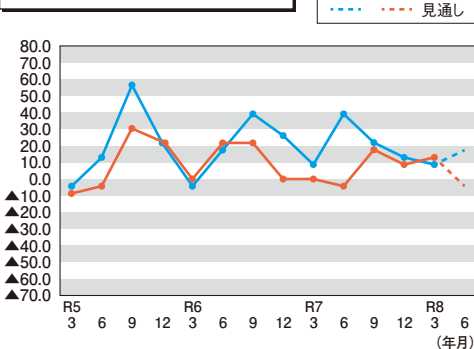
コメント



○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は17.4と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から4.3ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は8.7と前期から4.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.7ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は13.0と前期から4.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から17.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・土木工事、一般建築

公共工事が主体であり、例年と大きな変動はない。民間工事も含めて案件はある程度発生しているものの、人手不足により容易に受注できない状況が続いている。

・一般建物工事

新築住宅の受注が減少しており、今後はリフォーム工事をメインにしていきたいことも検討中。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	60.9
材料価格の上昇	56.5
人件費の増加	21.7

当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	73.9
経費を節減する	30.4
販路を広げる	26.1

設備投資動向(%)

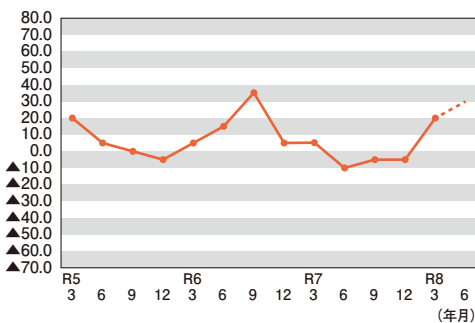
今期設備投資を実施した	17.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.4

(不動産、機械、事務機器、車両等)

不動産業

札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



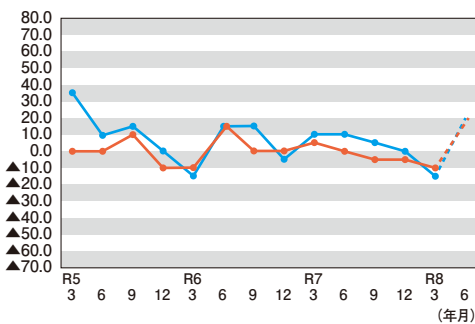
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は20.0と前期から25.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇の見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲15.0と前期から15.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から35.0ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲10.0と前期から5.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から30.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・不動産売買・賃貸

商品物件の値上げや、人件費高騰が要因で収益確保が困難な状況。住宅ローン金利上昇も背景にあり、現在対応策を模索中。

・不動産仲介

物価高に伴い、不動産価格が上昇傾向にある。人件費等の経費増加に対応するためには増収が必要である。

経営上の問題点(複数回答)(%)

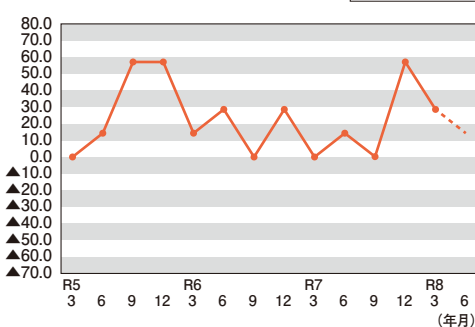
商品物件の高騰	45.0
問題なし	35.0
同業者間の競争激化	20.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	55.0
情報力を強化する	35.0
経費を節減する	20.0

後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

業況判断DIの推移



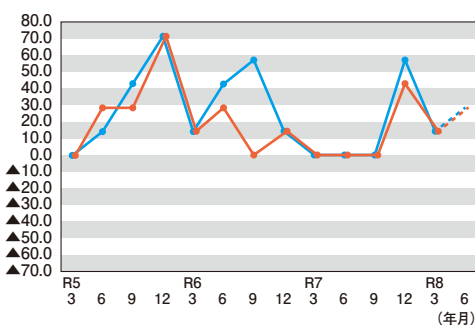
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は28.6と前期から28.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から42.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から28.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・仲介・売買・賃貸

物件の仕入値上昇により、金融機関からの借入も厳しくなったと感じる。

・不動産

金利動向で、やや販売が都市部を中心に弱みな状況も、郡部でリカバーをしている状況。

経営上の問題点(複数回答)(%)

商品物件の高騰	85.7
同業者間の競争激化	42.9
商品物件の不足	42.9

当面の重点施策(複数回答)(%)

情報力を強化する	42.9
販路を広げる	28.6
経費を節減する	28.6

特別調査

「中小企業経営者のライフデザイン」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

問1

社長(代表者)は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。1~5の中からお答えください。併せて、現在の社長(代表者)の年齢階層を下記の6~10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
10年先の自社の経営展望							
1. 事業拡大	25.0%	23.3%	11.4%	23.5%	21.3%	25.9%	20.6%
2. 現状維持・横ばい	55.0%	55.8%	68.4%	54.9%	61.3%	55.6%	59.7%
3. 事業縮小	8.3%	9.3%	10.1%	5.9%	5.0%	0.0%	7.1%
4. 廃業・事業譲渡予定	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	2.5%	0.0%	1.2%
5. わからない	11.7%	11.6%	7.6%	15.7%	10.0%	18.5%	11.5%
社長(代表者の年齢階層)							
6. 20歳代、30歳代	0.0%	0.0%	1.3%	3.9%	1.3%	0.0%	1.2%
7. 40歳代	10.0%	9.3%	10.1%	15.7%	11.3%	18.5%	11.8%
8. 50歳代	33.3%	27.9%	31.6%	27.5%	36.3%	37.0%	32.4%
9. 60歳代	33.3%	39.5%	24.1%	29.4%	22.5%	22.2%	27.9%
10. 70歳代以上	23.3%	23.3%	32.9%	23.5%	28.8%	22.2%	26.8%

0 10 20 30 40 50 60

問2

社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1~6の中から、そうでない方は7~10の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
具体的な年齢の目途がある							
1. 60歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 60~64歳	3.3%	0.0%	1.3%	2.0%	1.3%	0.0%	1.5%
3. 65~69歳	6.7%	7.0%	10.1%	13.7%	10.0%	7.4%	9.4%
4. 70~74歳	5.0%	7.0%	7.6%	3.9%	6.3%	14.8%	6.8%
5. 75~79歳	3.3%	9.3%	5.1%	5.9%	6.3%	14.8%	6.5%
6. 80歳以上	3.3%	0.0%	2.5%	2.0%	0.0%	0.0%	1.5%
具体的な年齢の目途はない							
7. 健康が続く限り生涯現役	18.3%	32.6%	29.1%	25.5%	27.5%	14.8%	25.6%
8. 後継者に託せるようになるまでは現役	46.7%	39.5%	29.1%	37.3%	38.8%	37.0%	37.6%
9. 生活資金の見通しがつくまで現役	1.7%	0.0%	2.5%	2.0%	0.0%	3.7%	1.5%
10. 全く考えていない	11.7%	4.7%	12.7%	7.8%	10.0%	7.4%	9.7%

0 10 20 30 40 50

問3

社長(代表者)は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
十分だと思う							
1. 貯蓄・資産がすでに十分ある	35.0%	30.2%	22.8%	19.6%	37.5%	37.0%	30.0%
2. 会社からの退職金が見込める	11.7%	16.3%	10.1%	5.9%	11.3%	11.1%	10.9%
3. 年金・保険が見込める	8.3%	7.0%	8.9%	9.8%	2.5%	11.1%	7.4%
4. 何とかなる	8.3%	11.6%	20.3%	23.5%	21.3%	11.1%	17.1%
まだ不十分だと思う							
5. 貯蓄・資産が十分ではない	1.7%	16.3%	8.9%	19.6%	8.8%	7.4%	10.0%
6. 会社からの退職金が見込めない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 年金・保険が見込めない	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.3%	0.0%	0.6%
8. 何となく不安である	13.3%	11.6%	17.7%	7.8%	5.0%	11.1%	11.2%
その他							
9. まだ考えていない	21.7%	7.0%	8.9%	11.8%	12.5%	11.1%	12.4%
10. 引退しない	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

0 10 20 30 40 50

問4

社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をいらっしゃいますか。下記の1~10の中から主なものについて3つ以内でお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 預貯金(円貨)	86.7%	76.7%	86.1%	82.4%	80.0%	85.2%	82.9%
2. 外貨預金	1.7%	2.3%	2.5%	2.0%	1.3%	3.7%	2.1%
3. 債券(国債・社債等)	1.7%	7.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	1.8%
4. 投資信託	23.3%	37.2%	8.9%	13.7%	16.3%	40.7%	20.0%
5. 株式	15.0%	14.0%	3.8%	15.7%	7.5%	22.2%	11.2%
6. 不動産	6.7%	9.3%	12.7%	13.7%	16.3%	40.7%	14.4%
7. 個人年金保険	8.3%	4.7%	11.4%	3.9%	7.5%	3.7%	7.4%
8. 共済等その他保険商品	16.7%	11.6%	5.1%	9.8%	18.8%	0.0%	11.5%
9. 仮想通貨	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 何もしていない	8.3%	11.6%	8.9%	9.8%	7.5%	3.7%	8.5%

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

問5 特別設問

貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由について5から10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
引上げ							
1. 0%以上2%未満	31.7%	23.3%	19.0%	23.5%	27.5%	29.6%	25.3%
2. 2%以上4%未満	16.7%	11.6%	7.6%	15.7%	21.3%	18.5%	15.0%
3. 4%以上6%未満	10.0%	7.0%	2.5%	5.9%	3.8%	7.4%	5.6%
4. 6%以上	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.9%
引上げない							
5. 賃上げに見合う価格転嫁ができてない	15.0%	9.3%	13.9%	11.8%	12.5%	11.1%	12.6%
6. 同業や同地域内の他社が上げていない	3.3%	4.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
7. 今後の業績見通しが不透明	8.3%	18.6%	17.7%	17.6%	15.0%	11.1%	15.0%
8. 売上の低迷や伸び悩み	6.7%	4.7%	2.5%	7.8%	1.3%	0.0%	3.8%
9. これまでに賃金を引上げ済み	5.0%	16.3%	12.7%	13.7%	11.3%	7.4%	11.2%
10. 自社に従業員はいない(家族経営など)	3.3%	2.3%	22.8%	3.9%	5.0%	14.8%	9.1%

0 10 20 30 40 50